

第二名神高速道路の全線早期整備について

第二名神高速道路は、名神高速道路との適切な交通機能の分担による交通渋滞の緩和と、阪神・淡路大震災のような大規模災害時における代替ルート機能による信頼性の確保等によって、近畿圏と中京圏、さらには首都圏との連携を強化し、国際競争力を高める我が国の新たな大動脈であり、国家戦略として極めて重要な道路である。

しかしながら第二名神高速道路は、愛知県名古屋市から三重県四日市市まで約20kmの区間が供用しているものの、三重県内の未着工区間や滋賀県から大阪府にかけて設定された「抜本的見直し区間」を含めた全線整備の見通しが立っていない。

これらの区間が整備されなければ、依然として高速道路が1本のみとなる区間が生じ、ネットワークとしての信頼性が大きく損なわれ、危機管理の観点から問題があるだけでなく、更なる交通渋滞による経済的損失も計り知れない。

国土開発幹線自動車道建設会議を目前に控えた今、高速道路の整備方針が決定される極めて重要な時期を迎えている。

第二名神高速道路がその機能を十分に発揮するため、全線が早期に完成されるよう、次の事項について強く要望する。

- 一． 第二名神高速道路については、国益の観点から、国の責任において全線整備を推進すること。
- 二． 第二名神高速道路の整備中区間はもとより、未着工区間である四日市市～亀山市間及び「抜本の見直し区間」である大津市～城陽市間、八幡市～高槻市間を含めた全線を新会社の整備する区間として位置付け、早期整備を図ること。

平成17年11月

第二名神自動車道建設促進協議会

会 長	大阪府知事	太 田	房 江
副会長	愛知県知事	神 田	真 秋
副会長	三重県知事	野 呂	昭 彦
副会長	滋賀県知事	國 松	善 次
副会長	京都府知事	山 田	啓 二
副会長	兵庫県知事	井 戸	敏 三
監 事	名古屋市長	松 原	武 久
監 事	神戸市長	矢 田	立 郎

社団法人関西経済連合会

会 長	秋 山	喜 久
-----	-----	-----

社団法人中部経済連合会

会 長	豊 田	芳 年
-----	-----	-----